

明石アクティヴスポーツ 総合型地域スポーツクラブ マスタープラン

2012年7月 8日策定
2021年9月24日改訂
2024年9月27日改訂



特定非営利活動法人明石アクティヴスポーツ

当クラブの前身である「二見北ニュースポーツクラブ」は、地域における様々な課題、特に学校以外に居場所がなかった子どもたちの「居場所」づくりのために平成12年に設立し、キンボールなどのニュースポーツ教室や新たに立ち上げたサッカークラブの活動を通じて青少年の健全育成に取り組んできました。この活動により、様々な家庭環境で育った子どもたちの居場所となり、子どもたちに目標を持たせること、さらには世代間のつながりが希薄になっている現状に対して、様々な年齢の子どもたちが参加できる場を作り、地域コミュニティの再構築を図ることに寄与してきました。

これらの活動をさらに発展させるため、多種目多世代でスポーツや文化活動に関わることができる「総合型地域スポーツクラブ」として、2012年に「明石アクティヴスポーツ」を設立しました。

地域のスポーツ・文化レベルの向上に力を入れていくとともに、様々な世代の子どもたちが好きなことに一生懸命になれる環境づくりをしていくことで、多くの子どもたちの地域での居場所づくり、体力づくりを促進して参ります。

なお、本計画は3年ごとに見直します。

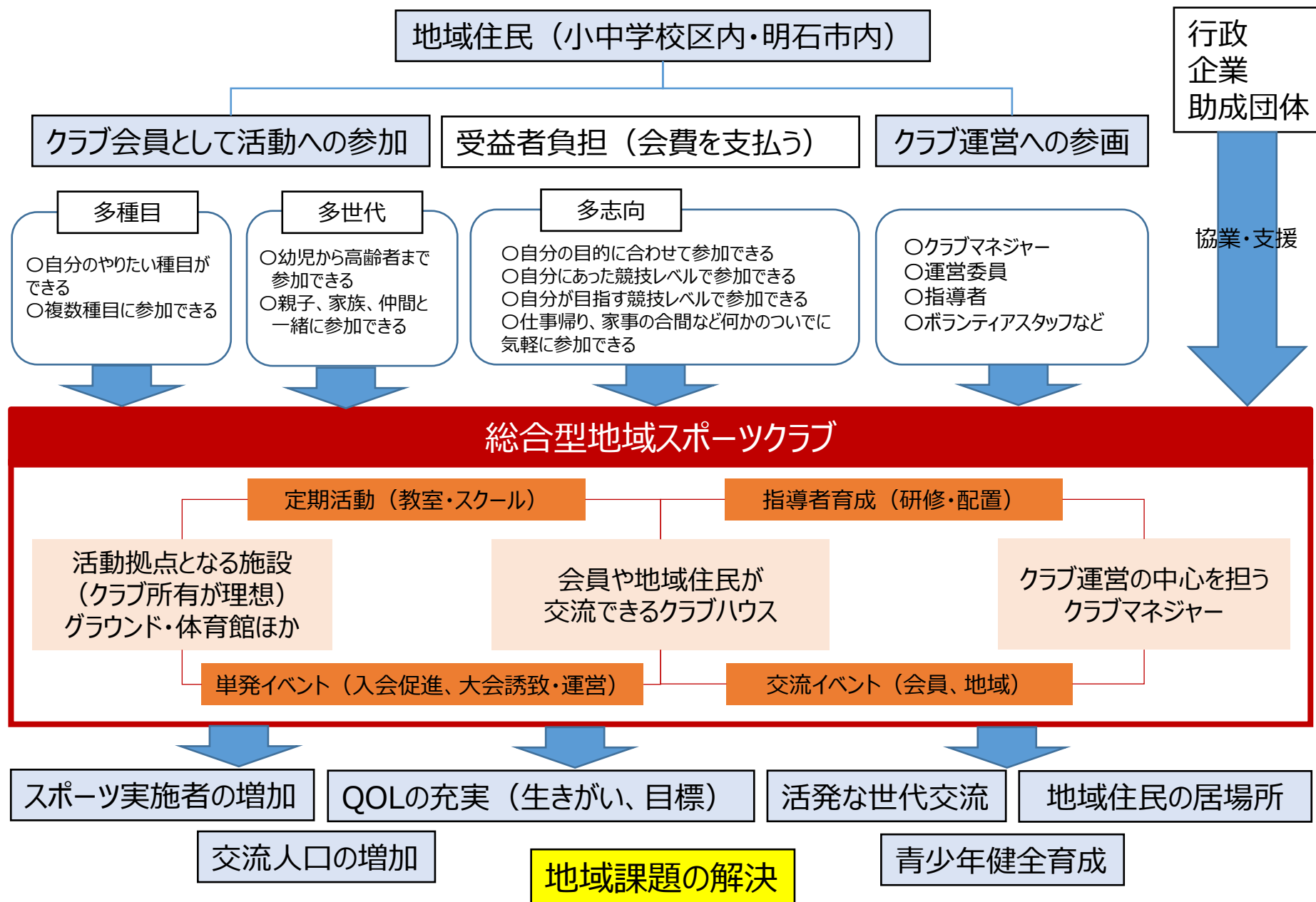
マスタープランの構成

I 基本理念	・・・・・・・・・・	1 p
II 目指す総合型地域スポーツクラブのイメージ	・・・・・・・・・・	2 p
III クラブの運営体制（機構図）	・・・・・・・・・・	3 p
IV 目標	・・・・・・・・・・	4 p
V 目標を達成するための施策と具体的事業	・・・・・・・・・・	5 p

明石市及び近隣地域住民に対して、総合型地域スポーツクラブの運営を中心とした活動による子どもたちの健全育成や地域コミュニティの再構築、スポーツの推進を通して、そのネットワークから豊かなまちづくりに寄与することを目的とする。

Ⅱ 目指す総合型地域スポーツクラブのイメージ

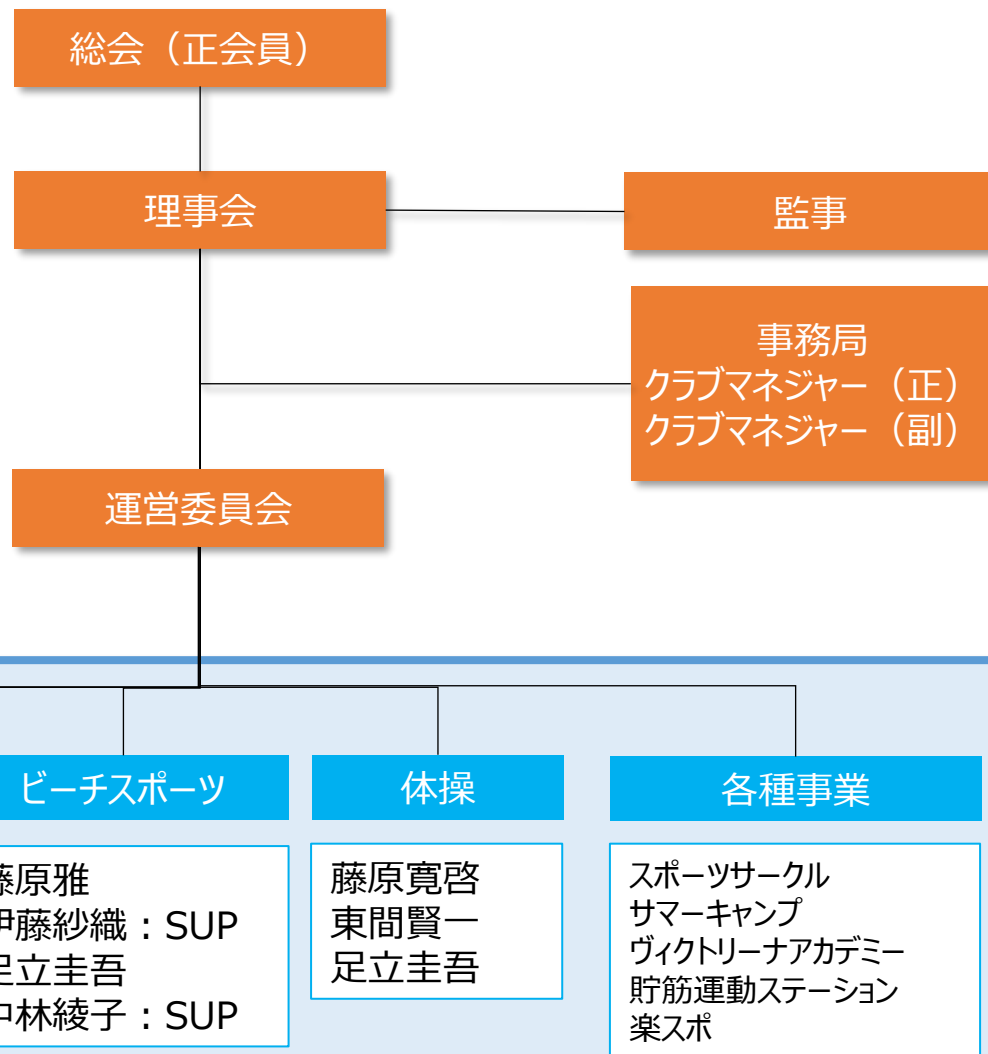
4



Ⅲ クラブの運営体制（機構図）

5

役職	氏名	所属
理事長	藤原 由紀	社会福祉法人理事
副理事長	武田 隼	社会福祉法人 理事・事務局長 クラブマネジャー正
理事	今中 理絵	保育士
理事	柳 久恒	神戸学院大学 経営学部准教授
理事	藤原 寛啓	幼児体育講師、保育園園長 クラブマネジャー副
監事	勝山 秀明	神戸電機産業株式会社 代表取締役社長
監事	寺井 吉広	明石市議会議員
正会員	藤原 嗣久	サッカークラブ コーチ
正会員	藤原 雅	ニュースポーツ・ビーチスポーツクラブ コーチ
正会員	伊藤 紗織	ニュースポーツ・ビーチスポーツクラブ コーチ
正会員	足立 圭吾	ニュースポーツ・ビーチスポーツ・体操コーチ



1. 子どものスポーツ環境を充実させることで、スポーツの普及はもちろん、目標を持つこと、チャレンジすること、成長すること、工夫することの大切さを学ぶ機会を作ります。また、子どもが持つそれぞれの可能性、様々な可能性を開花できるようサポートします。

2. スポーツ非実施者に対して、スポーツ参加の機会を提供することでスポーツ実施者を増やします。特に、女性、働いている方々、高齢者、障がい者も気軽にスポーツ参加できる環境を整備します。

3. 上記1.2の目標達成に向けて、活動拠点となるスポーツ施設の整備を目指します。

	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029～2034
多種目	5種目	6種目	6種目	8種目	9種目	15種目
多世代	こども・大人 女性・高齢者	こども・大人 女性・高齢者 障害者	こども・大人 女性・高齢者 障害者	こども・大人 女性・高齢者	こども・大人 女性・高齢者 障害者	こども・大人 女性・高齢者 障害者
多志向	普及・育成	育成・普及 競技	育成・普及 競技	普及・育成	育成・普及 競技	育成・普及 競技
会員数	120名	130名	140名	150名	160名	200名
拠点数	4	4	5	5	6	10

1. 有償指導者の育成・配置

- ボランティア指導者から、有償指導者に変更し、責任を持った指導、コーチングを行う。
- 指導者間でのミーティングや、外部の研修を積極的に受けることで、子どもに対する指導者のコーチングスキルを向上させる

2. 誰でも、気軽に（ついでに）、手軽に、スポーツができる環境づくり

- 現在の活動拠点以外にも、スポーツ参加できる拠点を増やす。
- 具体的には、保育園の遊戯室を活用したスポーツ環境を整備する。保育園には、明石市においてスポーツ参加率の低い女性が保育士として働いており、仕事で忙しい保護者（お父さんお母さん）が子どもの迎えに立ち寄る場所でもあるため、スポーツ非実施者が集まる環境にある。この方々に対して、「ついで」にスポーツができる環境を整備し、スポーツ非実施者を実施者に変換していく。

3. ステークホルダーとの連携強化によるスポーツ環境整備

- 明石市内の企業・行政ほか関係組織との連携を強化することにより、スポーツ活動の新たな環境整備に取り組む。
- 公共施設体育館や学校体育館などの既存施設に頼ることなく、市内の様々な施設を有効活用する方法を探っていく。
- 地域課題の解決につながるよう、多世代が集い、利用できる新たなスポーツ施設の建設も視野に取り組む。

4. 総合型から共生型・社会課題解決型のスポーツクラブへの発展

- 子どもだけ、女性だけ、高齢者だけ、障がい者だけのクラブではなく、みんなが一緒に楽しめるスポーツ環境の整備を目指す。
- そのためのスポーツプログラムとして、モルック、ポッチャ、クロリティなどのニュースポーツを強化していく。
- どうすれば一緒に楽しめるか、みんなで考え、工夫し、試してみて、改善して、また取り組むといったサイクルを繰り返すことで、誰もが一緒に楽しめるような当クラブでの最適なスポーツライフスタイルを確立する。
- 地域が抱える課題をスポーツを活用して解決する、社会課題解決型のスポーツクラブを目指す。